(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2009-7708
(P2009-7708A)
(43)公開日　平成21年1月15日(2009.1.15)

(51)Int.Cl.		F I		テーマコード（参考）
A41D 27/20	(2006.01)	A41D 27/20	B	3BO31
A41D 1/02	(2006.01)	A41D 1/02	A	3BO35

審査請求 未請求　請求項の数 3　ＯＬ　（全 4 頁）

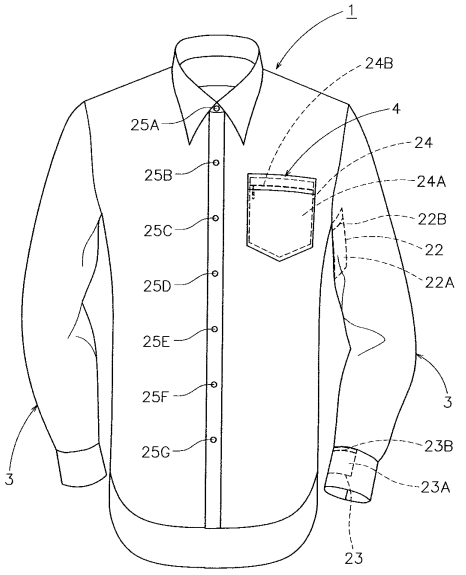
(21)出願番号　特願2007-170471 (P2007-170471)
(22)出願日　平成19年6月28日 (2007.6.28)

(71)出願人　507218999
藤井　清次
香川県東かがわ市引田２１５－２５
(74)代理人　100075731
弁理士　大浜　博
(72)発明者　藤井　清次
香川県東かがわ市引田２１５－２５

Ｆターム(参考)　3B031 AA02　AB13　AC05
3B035 AA08　AA09　AA10　AA17　AB10

(54)【発明の名称】被服

(57)【要約】
【課題】スムーズにパスポートやカードなどの重要性の高い収納物の出し入れすることができ、且つスリ被害などの外部から侵襲に対して安全性の高いポケットを付設した被服を提供すること。
【解決手段】胴部分２と袖部分３をもつ袖つきの被服１において、袖部分３の上腕部内側で被服着用者の腋側位置に袖腋部内ポケット２２と袖部分３の袖口部内側で被服着用者の手首内側位置に袖口部内ポケット２３を設ける。
この発明の被服は、仮に第三者（スリ）がカミソリ刃などを使ってポケット部分を外側から切開しようとしても被服着用者の上腕部分や手首部分が邪魔となってポケット部分を切開することができない。したがってこれらのポケットを使用すればスリ被害の多い一部の海外地域においてもパスポートやカードなどの重要物品をスリ被害から守ることができる効果がある。
【選択図】　図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
胴部分（２）と袖部分（３）をもつ袖つきの被服（１）であって、前記袖部分（３）の上腕部内側で被服着用者の腋側位置に袖腋部内ポケット（２２）を設けたことを特徴とする被服。
【請求項２】
胴部分（２）と袖部分（３）をもつ袖つきの被服（１）であって、前記袖部分（３）の袖口部内側で被服着用者の手首内側位置に袖口部内ポケット（２３）を設けたことを特徴とする被服。
【請求項３】
胴部分（２）と袖部分（３）をもつ袖つきの被服（１）であって、前記袖部分（３）の上腕部内側で被服着用者の腋側位置に袖腋部内ポケット（２２）と前記袖部分（３）の袖口内側で被服着用者の手首内側位置に袖口部内ポケット（２３）を設けたことを特徴とする被服。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本願発明は、スーツ上着やＹシャツなどのような袖つきの被服に関するものである。
【背景技術】
【０００２】
スーツ上着やＹシャツなどのような被服にポケットを付設する場合、通常は胸部外面や胴部側面など被服着用者が外から手指を挿入し易い位置にポケットを付設するのが一般的である。ところで、被服着用者が外から手指を挿入し易いということは、スリなどの第三者もポケットに手指を挿入し易いということであり、このことから海外旅行中においてはスリ被害によりパスポートやカード入り財布を紛失するという深刻な事例が跡を絶たないのが現状である。
【発明の開示】
【発明が解決しようとする課題】
【０００３】
従来からスーツなどの上着の胸部内側に内ポケットを設けてスリ被害を防止し得るようにしたものはあるが、この場合でも、その内ポケットは通常の場合、被服着用者の胸部前面側にあって鋭利な刃物（カミソリ刃など）を使用すれば気付かないうちにスリ取られてしまうということがある。
【０００４】
また、スリ被害に遭わないようにするために、スボンのベルト着用部裏側にポケットを付設したものも従来から存在するが、この場合には、スリ被害防止には有効であっても、パスポートやカード入り財布などのポケット内収納物を出し入れする際にベルトをゆるめてズボンの内側へ手指を挿入しなければならず、出入国審査場などの公共の場所では見苦しく、必ずしも適切な方法ではない。
【０００５】
本願発明は、上記のような事情に鑑みてなされたもので、スムーズに収納物の出し入れができ且つ安全性の高いポケットを設けた被服を提供することを目的とするものである。
【課題を解決するための手段】
【０００６】
本願発明の被服は、図１に例示するように胴部分２と袖部分３をもつスーツ上着やＹシャツなどの袖つきの被服において、袖部分３の内側でしかも外部から第三者が侵襲しにくい位置、たとえば袖部分３の上腕部内側で被服着用者の腋側位置や袖口部内側で被服着用者の手首内側位置、あるいはその両方にパスポートやカードあるいは紙幣類を収納するポケットを設けることを主たる構成とするものである。
【発明の効果】

【０００７】
本願発明の被服は、胴部分２と袖部分３を有するシャツやスーツ上着などの袖つきの被服において、たとえば袖部分３の上腕部内側で被服着用者の腋側位置や袖口部内側で手首内側位置、あるいはその両方にポケットを設けたものであるから、仮に第三者がカミソリ刃などを使ってポケット部分を外側から切開しようとしても被服着用者の上腕部分や手首部分が邪魔となってポケット部分を切開することができない。したがってこれらのポケットを使用すればスリ被害の多い一部の海外地域においてもパスポートやカードなどの重要物品をスリ被害から守ることができる効果がある。
【０００８】
また、本願発明の被服は、上半身に着用するものであるから、ポケットから収納物を出し入れする場合にもベルトをゆるめるなどの手間もなく、スムーズに収納物を出し入れすることができる効果がある。
【発明を実施するための最良の形態】
【０００９】
続いて図１を参照して本願発明の好適な実施例を説明すると、図１にはそのまま上衣として着用できるスポーツシャツ１が示されており、同図において符号２はその胴部分、３，３は袖（長袖）部分、４は通常の胸ポケットである。
【００１０】
図示の実施例では袖部分３の上腕部内側で被服着用者の腋側位置に袖腋部内ポケット２２、袖部分３の袖口内側で被服着用者の手首内側位置に袖口部内ポケット２３を付設している。なお、これらの２種類のポケット２２，２３は一方の袖部分又は両方の袖部分に設けられる。被服１の胴部分２の中央には縦方向に開閉用のボタン２５Ａ，２５Ｂ，・・・が取り付けられている。また、胸ポケット４の裏側には胸部内ポケット２４が設けられている。
【００１１】
袖腋部内ポケット２２はその本体袋部２２Ａが長方形状で、パスポートを収納することができる程度の大きさがあり、同本体袋部２２Ａの上端口縁をジッパー２２Ｂで開閉し得るようになっている（なお、ジッパーにかえてボタンや面接着ファスナーなどの他の開閉具を使用することもできる）。
【００１２】
袖腋部内ポケット２２内にパスポートなどの収納物を出し入れするときは、袖腋部内ポケット２２とほぼ同じ高さにある１～２ケ所のボタンを外し、そこからポケットと反対側にある手を挿し込んでジッパー２２Ｂを開いて収納物を出し入れすることができる。
【００１３】
袖口部内ポケット２３は長方形状で、その本体袋部２３Ａはクレジットカードや折り畳んだ紙幣を収納できる程度の大きさがあり、同本体袋部２３Ａの１つの開口縁をジッパーやボタンあるいは面接着ファスナーなどの開閉具２３Ｂで開閉し得るようになっている。
【００１４】
袖口部内ポケット２３内にクレジットカードや紙幣などの収容物を出し入れする場合は、袖口部分を裏返し状に折り返してポケット部分を外側に露出させるとよい。
【００１５】
なお、胸部内ポケット２４は本体袋部２４Ａの上口縁部をジッパー等の開閉具２４Ｂで開閉し得るようになっている。
【図面の簡単な説明】
【００１６】
【図１】本願発明の実施例にかかる被服の形態説明図である。
【符号の説明】
【００１７】
１は被服、２は胴部分、３は袖部分、２２は袖腋部内ポケット、２３は袖口部内ポケットである。

【図１】

